

別紙様式 2

ブロック名 北海道・東北

第 1 2 回 献血推進運動中央連絡協議会における協議事項について

1. 22年度献血推進計画に盛り込まれた事業の取組予定

①平成23年4月1日施行予定の採血基準改正についての広報

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を 得るための方法等)
青森県	<各種メディアを利用した啓発活動> ・ 地元ラジオ放送 (血液センター) ・ 県の広報番組での周知	
岩手県	・ テレビ CM の作成	
岩手県	<その他の取組> ・ 高等学校を訪問し周知を図る	・ 献血推進協議会・報道機関・市町村・教育委員会 (校長会議での協力依頼等)
各道県	・ 広報媒体を利用した啓発 ポスター、パンフレットを用いた啓発 県のホームページへの掲載 献血場所での PR ・ 関係機関に対する文書通知	・ 各高等学校・保健所・血液センター ・ 市町村・報道機関・協力団体等 ・ 関係機関(医師会、病院協会、薬剤師会等)に通知 し、各会員に対する周知を依頼する。

②地域の特性に応じ、キッズスペースを確保する等の親子が献血にふれあう機会を設けるための取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての規制や連携・協力先 (都道府県における規制について記載願います。また、 連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を 得るための方法等)
各道県	<p><キッズスペースの設置状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7道県中4道県がキッズルームを設置しており、保母の資格を持った者をスタッフとして配置している県もある。 	
宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズスペースの設置についてホームページのほかタウン情報誌に掲載し広報している。 	
北海道	<p><キャンペーン等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンデーテリング※で小学生の親子を対象に献血の意義を啓発 	<p>※札幌市交通局が実施しているスタンプラリー方式の事業。血液センターが参加している。</p>
秋田県	<ul style="list-style-type: none"> ・「親子ふれあい献血」キャンペーンを実施し、親が献血している姿を子供に見学させている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・採血室で走り回ったり、騒いだりしないよう職員が付き添って見学させる事が必要。キッズコーナーでは複数の子供が集まるとケンカ等で騒ぎ出す事もあるため、管理する職員の配置が必要
山形県	<ul style="list-style-type: none"> ・街頭献血では、子供も献血バスの中に入って親の献血を見学 	
宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ・「けんけつKID'Sサマースクール」 対象：小学4～6年生及びその保護者 	
福島県	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター見学会（夏休み） ・献血感謝デー（2月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・報道機関に広報依頼

③「献血出前講座」や血液センター等での体験学習への取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
北海道	<ul style="list-style-type: none"> ＜献血出前講座等＞ ・ライオンズクラブ、看護学校等で講座の実施。小中学校への講座実施を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日赤、教育委員会、札幌市
青森県	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の一環として献血講座を実施（血液センターから学校を訪問） 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会、各小・中・高等学校長
岩手県	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校を訪問しての講話及びビデオ上映等による普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校を訪問し、献血協力依頼時にあわせて講話開催を依頼する。 ・JRC 活動の生徒を対象に実施（高等学校）
秋田県	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生や中学生を対象とした献血講話の実施（会場血液センター、7月実施） ・「献血ごっこ（仮称）」の実施（血液センター） ・保健所職員による出前講座（県） 	<ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会、各高校
山形県	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校に出前講座を実施（血液センター） 	
宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ・「けんけつ KID' S サマースクール」 対象：小学4～6年生及びその保護者 	
福島県	<ul style="list-style-type: none"> ・各高校へ出前講座の周知 	教育委員会
北海道	<ul style="list-style-type: none"> ＜施設見学＞ ・サンデーテーリングで血液センターに施設見学に訪れる。学生ボランティアが小学生親子に対応。 	

青森県	・親子献血セミナーを開催（夏休み、小学生・親子対象とし、血液センターを見学できる。）	青森市教育委員会
岩手県	・「親と子の血液センター見学会」を開催	
秋田県	・「献血ごっこ（仮称）」の実施（小学生の親子を対象）	
山形県	・高校生を対象にバスで宮城県にある基幹センター等の施設見学を実施	
宮城県	・高校生を対象とした血液センターの検査・製造部門の見学を実施（宮城県）	

④大学等における献血の推進及び将来の医療従事者をめざす者に対する普及啓発の取組

都道府県名	<p>予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・各大学、専門学校、サークル、学生寮での勉強会の実施 ・「一緒に（グループ）献血」の実施（5人1組で献血、処遇品の増量） ・学生献血推進協議会に看護学生が入り、献血の推進や勉強会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター、市町村
青森県	<ul style="list-style-type: none"> ・青森県学生献血推進連絡会の活性化 ・医学生を対象とした献血ルームの見学及び実習の実施 ・県主催の輸血療法安全対策講演会への医学生の出席を呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学、大学医学部付属病院
岩手県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学等への献血バスの配車 ・医学部、薬学部、看護学部への献血バスの配車 ・研修医の献血問診業務への協力依頼 ・医学生への血液製剤使用適正化に係る冊子の配布 ・学生献血ボランティアとの更なる連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティア団体、各大学 ・各大学 ・各研修医受入れ病院 ・医科大学

秋田県	<ul style="list-style-type: none"> ・医学生の血液センター訪問、研修血液事業に係る教育の実施 ・大学における献血講話の実施（血液センター） 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学医学部
山形県	<ul style="list-style-type: none"> ・学生献血協力サークルへ献血者不足等の情報提供及び献血希望者の募集を行うメール配信（血液センター） 	
宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ・「献血出前講座及びセミナー」 対象：高校、大学、専門学校 献血のほかAED講習やHIVの講話など学校の希望を取り入れている。 ・「高校生献血ボランティア体験」 対象：県内高校生（主に夏季に実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関 ・街頭献血の呼びかけなど赤十字の活動を体験する場を設けている。
福島県	<ul style="list-style-type: none"> ・献血キャンペーンへの高校生・大学生ボランティア等に参加してもらうことにより、身近に献血に触れる機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内各高校、大学のボランティアサークル等に対する事前の参加依頼を行う。
		<p><参考> 「アンパンマンのエクス」（DVD）は献血への理解が得られる非常によいツールと思われるので、積極的に活用すべき。</p>

⑤年齢別人口に占める献血者の割合が低い傾向にある50～60歳代を対象とした普及啓発の取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・この年代で人気のあるスポーツ(パークゴルフ等)イベント会場へ出向いての広報活動を検討中 ・献血参加の動機づけの一助として、「還暦献血」等の実施を検討。また、併せて60～64歳までに献血をいただくと69歳迄の協力が可能であることの周知徹底を兼ねて、折込みチラシやポスター等に60歳代の力(協力)が必要な旨のアピールを検討中。 	
青森県	<ul style="list-style-type: none"> ・50～60歳代限定のキャンペーン(シニアキャンペーン)実施 	
岩手県	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層、高齢層向けテレビCMの制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・献血可能年齢の情報提供
宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ・献血ルームの設備の充実(インターネット設備・マッサージ機器をはじめ、ガーデンカフェを楽しむ事のできるテラスなどの設置) ・平成16年より行っている「愛の献血70字ストーリー募集」の実施高齢者への周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村、報道機関、血液センター

⑥地域の特性に合わせた採血所のイメージ作りや移動採血車の機能面の充実等の、なお一層のイメージアップへの取組

都道府県名	<p style="text-align: center;">予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p style="text-align: center;">本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)</p>
北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郊外の献血ルームや地方の血液センターについては、カントリー調の内装や地域の代表的な風景等を表現する内装を施し、ゆったり感の演出や家族的雰囲気を出している。 ・ 街中のルームについては、癒しの演出を行っている。 	
青森県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全献血ルームの待合室のレイアウトを変更。 	
岩手県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血ルームの拡張リニューアル予定 	

第 1 2 回 献血推進運動中央連絡協議会における協議事項について

1. 22年度献血推進計画に盛り込まれた事業の取組予定

①平成23年4月1日施行予定の採血基準改正についての広報

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村担当者会議等での説明 ○高校生献血キャンペーン等での広報 ○地元ラジオ放送, チラシ(新聞折込), 駅前の大型ビジョンを活用した広報の実施 	市町村 血液センター 教育委員会 地元新聞社 地元AMラジオ局 コミュニティーFM放送局 等
栃木県	<ul style="list-style-type: none"> ○各種イベント・高校献血実施時などで、ポスター、リーフレット等の配布による周知 ○ラジオ、テレビ及び新聞などのマスメディアの活用 ○県及び血液センターホームページへの掲載 ○ハガキ・メール等による周知 	教育委員会、血液センター 県内各メディア
群馬県	<ul style="list-style-type: none"> ○広報、ホームページ等による広報 ○17歳からの400ml献血に対して、養護教諭向けにリーフレットの作成を検討。 	教育委員会・各高等学校・血液センター

埼玉県	<p>○平成22年度後半に、血液センターと県のホームページに掲載及び関係機関に通知（新規）</p> <p>○市町村献血担当者会議等で適宜説明（継続）</p>	<p>県教育委員会、さいたま市教育委員会及び県総務部学事課を通じて県内全高校に採血基準改正の事前の連絡を実施する。</p> <p>また、採血基準改正について市町村、保健所にも周知を行う。</p>
千葉県	<p>【血液センター】</p> <p>○行政、血液センター及び各種団体との連携強化を図る</p>	<p>【血液センター】</p> <p>教育委員会、高等学校及び市町村献血推進協議会等に主旨説明を行い、理解を得る。</p>
東京都	<p>○ホームページ、都及び区市町村の広報紙等を活用して十分な理解と協力を呼びかけ広く広報を行う。</p> <p>○施設見学及び学校献血、文化祭などの学校行事に合わせて広報を行う。</p>	<p>○区市町村、血液センターとの連携。</p>
神奈川県	<p>○ホームページ、県・市町村広報紙等を活用し、住民に対して、十分な理解と協力を呼びかける広報を行う。</p>	
新潟県	<p>○ 地元ラジオ局による広報</p> <p>○ リーフレットの作成</p>	
山梨県	<p>○県広報誌への掲載や市町村広報誌への掲載依頼を行いたいと考えています。</p>	<p>市町村長に協力を依頼する。</p>

長野県	<p>○ 22 年度当初の段階では具体的な広報等の実施計画は未定。(採血基準改定に当たって、男性 69 歳まで血小板献血が可能になることや 17 歳から 400mL 献血が可能になることについては、献血推進や献血確保の点から期待している。)</p> <p>【血液センター】</p> <p>○ 県のホームページに採血基準改正に関する情報を掲載する予定。【県】</p>	<p>○ 市町村、献血協力団体、献血ボランティア団体等に対して新採血基準への理解と協力を得るため、渉外活動・広報活動に努めたい。また、メディアにも協力を依頼し、一般向けの広報を行いたい。</p>
-----	--	---

②地域の特性に応じ、キッズスペースを確保する等の親子が献血にふれあう機会を設けるための取組

都道府県名	<p>予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うに当たっての規制や連携・協力先 (都道府県における規制について記載願います。 また、連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
茨城県	<p>○ つくば献血ルームの増改築を行う為、イベントキッズスペースを設置する。また、他ルームではキッズスペースがないため幼児向け絵本やぬりえを備え付けて対応している。</p>	<p>規制は特段なし</p>
栃木県	<p>○ 街頭献血実施の際のキッズスペースの設置 ○ 親子 A E D 講習と施設見学を実施 (小学生夏休み期間)</p>	<p>学生ボランティア等 地域の小学校等</p>
群馬県	<p>○ 献血ルームに幼児向けの絵本を備える。 ○ 献血ルームにおける託児体制の検討。</p>	

埼玉県	<ul style="list-style-type: none"> ○親子ふれあい献血キャンペーンの実施（継続） ○キッズスペースについては今後、新たに設置する献血ルーム（大宮第二献血ルーム（仮称））に託児体制の確保を図る予定 	血液センター
千葉県	<p>【血液センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若年層に対する献血啓発活動の一環として、普段献血に接することのない子供に幼少時代から献血へ興味、関心を持ってもらうことで、将来的な献血に資することを目的として、児童生徒と保護者を対象とした小学生を対象とした小学生献血学習会を年1回開催する。 	<p>【血液センター】</p> <p>献血施設と併せて医療現場の見学も実施予定であることから、県内の医療機関</p>
東京都	<ul style="list-style-type: none"> ○人員の配置、奉仕団やボランティアの協力依頼。 ○献血者に対する充足感のある環境を整える。器材及び広報資材の見直しを図る。 	○区市町村、血液センターとの連携
神奈川県	○安全性の検証等、キッズスペース設置に向けた前向きな検討を実施する。	規制や連携・協力先等を含め検討中。
新潟県	○献血ルームに幼児・子供向けの絵本を備え付け	
山梨県	○特に予定はありません。	
長野県	○献血固定施設内に託児スペースを設けるなど設備の充実に向けて検討する予定。【血液センター】	○特になし。

③「献血出前講座」や血液センター等での体験学習への取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ○小学生を対象とした夏休み親子教室の実施 ○高校生を対象とした献血出前講座及び施設見学会の実施 ○企業(事業所)を対象として献血出前講座の実施 	<p>各市町村の教育委員会 各高等学校 県内各企業</p>
栃木県	<ul style="list-style-type: none"> ○とちぎ県政出前講座において、「血液のはなし」と題し、血液の働きと、献血から作られる血液製剤の使い方などについての説明 ○施設見学の実施(血液センター) ○小学校等の校外学習事業の受け入れ(血液センター) ○親子AED講習の実施(小学生夏休み期間) 	<p>依頼内容等により、血液センターと連携</p> <p>教育委員会・地域の小学校等</p>
群馬県	<ul style="list-style-type: none"> ○血液センター体験学習 ○献血出前講座の実施 	<p>教育委員会・各小中学校・血液センター</p>
埼玉県	<ul style="list-style-type: none"> ○血液センター顧問を講師とした血液出前講座の実施(継続) ○新高校1年生を対象とした献血ルーム見学会の実施(新規) 	<p>血液センター</p>

千葉県	<p>【血液センター】</p> <p>○若年層及び献血全年齢層への献血啓発として、高校生を対象とした献血セミナー、中学生職場体験を積極的に実施・受入を行う。</p>	<p>【血液センター】</p> <p>千葉県教育庁教育振興部→実施高等学校の選定と実施依頼 千葉県青少年赤十字指導者協議会→青少年赤十字採用校での実施勧奨 千葉市教育委員会学校教育部→職場体験受け入れ先として血液センターを紹介</p>
東京都	<p>○リーフレットや広報資材等を整備して、既存の地域（PTA）や学内献血等で、献血の啓発を行う。</p>	<p>○区市町村、教育委員会、学校等、血液センターとの連携。</p>
神奈川県	<p>○小・中学生の親子を対象として実施している「夏休み小中学生親子献血教室」を拡充し、血液の大切さや助け合いの心について、さらなる啓発を図る。</p>	<p>県、市町村、各市町村教育委員会、各教育事務所、各小中学校等の連携・協力を必要とし、文書で協力依頼をしている。</p>
新潟県	<p>○高等学校における献血普及講演会の実施 ○小学生から高校生を対象とした献血ルーム見学会の開催</p>	<p>県教育委員会</p>
山梨県	<p>○特に予定はありませんが、今後検討を行いたいと考えています。</p>	
長野県	<p>○「長野県政出前講座」のテーマの一つとして「身近に感じる献血」を設定している。県民から依頼があれば、県職員が説明に出向き、県民と意見交換等を行っている。【県】</p> <p><説明内容> ・はじめての献血（基礎知識） ・県内の献血の現状 ・献血方法、採血基準 など</p>	<p>○特になし。</p>

④大学等における献血の推進及び将来の医療従事者をを目指す者に対する普及啓発の取組

都道府県名	<p style="text-align: center;">予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p style="text-align: center;">本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
茨城県	○学内献血時にミニキャンペーンの実施、また学園祭でパネル展示やクイズ等を実施し推進を図る	各大学・ライオンズクラブ
栃木県	○県内の大学・短大・専門学校での献血実施及び実施時に若年層向けチラシ・パンフレットの配布 ○学生献血推進連盟「かけはし」の活動支援 ○看護学校の学生等の血液センター施設見学の受け入れ ○看護学校の学生等あてにハガキ等による献血依頼	献血実施大学・学生献血推進連盟「かけはし」等
群馬県	○県内大学への献血協力の依頼。	県内各大学・私立大学協会・各種専門学校・血液センター
埼玉県	○大学における献血実施の際、学内ボランティアサークルに広報活動の援助を受ける。(継続)	血液センター 大学のボランティアサークル
千葉県	【県】 ○献血者安定確保対策事業として、献血推進員(5名)を雇用し、大学等への献血協力要請・献血広報等を行う。 【血液センター】 ○学生ボランティア募集用パンフレットを作成し、千葉県学生献血推進協議会会員の増加を図り、各大学献血実施時のボランティア活動の依頼、若年層を対象とした献血キャンペーンを行う。	【血液センター】 ○県内各大学及び JRC 採用校に血液センターを通じ協力依頼をする。

東京都	<ul style="list-style-type: none"> ○大学・短大献血の増回及び増班やグループ・ペア献血の実施。 ○携帯メールクラブの会員案内と情報提供。 ○ホームページ、都及び区市町村広報紙等を活用して十分な理解と協力を呼びかけ広く広報を行う。 ○施設見学の実施。 	○血液センター及び各学校の学校祭などにおける献血紹介 ボランティア(学生)や、行事の実行委員会等との連携強化。
神奈川県	○ 県内大学生を対象としたイベント(ボラフェスタ in KANAGAWA) の開催	横浜ベイスターズ、横浜F・マリノス、川崎フロンターレ、湘南ベルマーレ、FMヨコハマほか地元企業、団体等
新潟県	<ul style="list-style-type: none"> ○大学、専門学校等への献血バスの配車(栄養士が同行し、栄養指導を行う。) ○専門学校における献血普及講演会の実施 ○献血を体験してもらうための献血ルーム見学会 	大学、専門学校等
山梨県	○特に予定はありません。	
長野県	<ul style="list-style-type: none"> ○特に若年層へのアピールに重点をおき、医療系、薬学系の大学生に対して体験学習等の定期的実施を計画している。【血液センター】 ○長野県内の各大学のキャンパスにおいて、献血啓発用ポケットティッシュを配布する広報活動を定期的に実施するとともに、協力可能な大学においては移動採血車を配車しキャンパスでの献血を計画している。【血液センター】 ○若い世代への啓発事業として、保健福祉事務所(保健所) 担当者が高校、短大、大学、専門学校等を訪問し、献血への理解と協力を求めている。【県】 	<ul style="list-style-type: none"> ○各大学担当部門 ○各大学の学生担当課 ○血液センター

⑤年齢別人口に占める献血者の割合が低い傾向にある50～60歳代を対象とした普及啓発の取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
茨城県	○定期的なDMを活用し、献血の協力依頼と献血情報等提供を行う	血液センター
栃木県	○献血推進キャンペーン等における普及啓発の実施 ○対象年齢層あてにハガキ等による献血依頼	血液センター
群馬県	○各種献血キャンペーンの実施と、DMの活用。	血液センター
埼玉県	予定なし。	
千葉県	<p>【県】</p> <p>○各種献血キャンペーンを実施するとともに、各種広報媒体に献血関連情報を提供する。</p> <p>【血液センター】</p> <p>○献血協力依頼文書の発送及び自治会等地域住民を対象とした説明会の実施。</p>	<p>【県】</p> <p>○県民だより、市町村広報誌、県内報道機関、地域広報誌、JR及び私鉄各社等</p> <p>【血液センター】</p> <p>○50歳以上の方への献血場所の情報提供及び各市町村、推進団体の協力を得て献血者の確保を図る。</p>
東京都	<p>○継続的なDMによる依頼。</p> <p>○ホームページ、都及び区市町村の広報紙等を活用して十分な理解と協力を呼びかけ広く広報を行う。</p>	○区市町村、血液センターとの連携
神奈川県	未定	

新潟県	○継続的なDM、献血メールクラブの活用 ○AM民放ラジオによる定期的な献血情報の提供	
山梨県	○特に予定はありません。	
長野県	○定期的に献血依頼のハガキ等を発送する。 【血液センター】	○特になし。

⑥地域の特性に合わせた採血所のイメージ作りや移動採血車の機能面の充実等の、なお一層のイメージアップへの取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
茨城県	○実施予定なし	
栃木県	○若年層等を対象としたイベント・サービスの企画 ○血液センターリニューアル(平成21年2月1日)後の維持・継続 ○血液センターまつり実施による地域へのイメージアップ及び地域貢献	○県内各メディア
群馬県	○献血ルームの移転計画に伴うイメージ向上。	市町村・ボランティア団体・血液センター
埼玉県	○本年度新設を予定している大宮第二献血ルーム(仮称)に、託児体制の確保や栄養指導などのスペースを設けると共に赤十字事業の情報発信の基地としての機能を持たせる。	血液センター

千葉県	<p>【血液センター】</p> <p>○献血ルームにおいて、健康増進に配慮したリラクゼーション関連のサービス等を行うことにより、献血ルームの更なる周知を図り献血環境の更なる向上に努める。</p>	大手リラクゼーションチェーン店等関係団体
東京都	<p>○献血者に対する充足感のある環境を整える。器材及び広報資材の見直しを図る。</p> <p>○献血者の安全性を確保しつつ、動線の流れのよい環境作り。</p>	<p>○血液センターや献血ルームとの情報連携を強化し、設備の充実を検討。</p> <p>○地域の商工会等との連携。</p>
神奈川県	○老朽化が進んでいる献血ルームなどの積極的な改善を行う。	
新潟県	<p>○献血ルームにおける雑誌・マンガの充実</p> <p>○テレビを利用した企画提案の募集</p> <p>○民放FM局による献血ルームのPR</p>	広告代理店
山梨県	○特に予定はありません。	
長野県	○献血処遇品の見直しや、献血者が来所しやすく、居心地の良い施設環境の整備を心がけることにより、医療機関のニーズにマッチした献血確保に努める。【血液センター】	○市町村やメディアと連携・協力して、献血施設のPRを実施する。

5 第12回献血推進運動中央連絡協議会における協議事項について

1. 22年度献血推進計画に盛り込まれた事業の取組予定

①平成23年4月1日施行予定の採血基準改正についての広報

<p>予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
<p>・高等学校における献血のより一層の協力依頼および普及啓発 (校長会に出向いて依頼)</p>	<p>・教育委員会</p> <p style="text-align: right;">福井県</p>
<p>・印刷物を保健所、市町村、関係団体企業に配布。 ・血液センターのホームページでの告知。</p>	<p>関係団体企業、市町村、血液センター</p> <p style="text-align: right;">岐阜県</p>

静岡県

<p>○愛の血液助け合い運動月間及びはたちの献血キャンペーン期間中に、県広報局が持っている民法ラジオ（AM、FM）放送枠を利用して啓発する。</p> <p>○1月から3月にかけて、民法ラジオ（AM、FM）で放送する情報提供コーナー（約3分間）の中でテーマとして取り上げる。</p>	<p>県広報局、県内ラジオ局</p>
--	--------------------

愛知県

<p>記者発表 ホームページへの掲載 啓発資材への掲載 県下の全高等学校に対して通知及び依頼を行う</p>	<p>報道機関 啓発資材の配布先団体（市町村、血液センター等） 県、市各教育委員会</p>
---	---

愛知県赤十字血液センター

<p>県下の高校に対して、愛知県献血推進担当部局と対応した上でPR広報を行う。場合によっては高等学校をはじめ各種学校を訪問して協力を依頼する。</p> <p>若年既献血者には改正内容を伝えるPR用パンフレットを配布・郵送して理解と協力を呼びかける。</p>	<p>愛知県献血推進担当部局と連携して、県教育委員会・名古屋市教育局の協力を仰ぎながら、各学校へ改正内容についての理解と献血協力を依頼する。市町村に対しても研修会等の機会を通じて改正内容についての理解と献血者への働きかけをお願いする。</p>
--	---

三重県・三重県赤十字血液センター

<p>ポスター・チラシ等を作成し、各市町および事業所へ配布するとともに、献血キャンペーン時に県民に対して呼びかけを行う。</p>	<p>各市町・事業所等</p>
--	-----------------

滋賀県

<p>17才男性への400mL献血の必要性和安全性についての啓発の実施。</p> <p>献血者の安全性を考慮した基準の改正についての啓発</p>	<p>滋賀県教育委員会・県内県立高等学校の協力を得て、授業の中で献血啓発を実施する手段の検討。</p>
--	---

<p>① 府の機関紙やホームページへの情報掲載、広報物品を活用しての告知。</p> <p>② 『日赤大阪』への情報掲載。</p> <p>③ 校内における高校生献血推進の強化。</p> <p>④ 55歳以上の男性の成分献血者に対して、血小板成分献血が可能になる旨、広報。</p>	<p style="text-align: right;">大阪府</p> <p>① 市町村、市町村献血推進協議会、府教育委員会等</p> <p>③ 大阪府、大阪市、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会</p>
--	--

<p>今後作成するリーフレットに登載配布、市町広報での周知依頼及びメディアの活用等により機会を捉えて、広く周知する。</p>	<p style="text-align: right;">兵庫県</p> <p>市町、日赤、報道（放送）機関</p>
--	---

<p>事前に血液センターが作成するポスター、リーフレットによる周知及びメディアの活用</p>	<p style="text-align: right;">兵庫県赤十字血液センター</p> <p>県、市町、報道（放送）機関</p>
--	---

<p>パンフレットやリーフレット等を作成して、改正内容を広報。報道機関にも資料提供を検討中。（県事業）</p>	<p style="text-align: right;">奈良県</p> <p>血液センター 奈良県献血推進協議会・市町村・高等学校等</p>
---	--

<p>・県広報誌「県民の友」、ホームページへの掲載及びリーフレットの作製。（県）</p> <p>・血液センターホームページへの掲載及びリーフレットの作製。（血液センター）</p>	<p style="text-align: right;">和歌山県</p>
---	--

②地域の特性に応じ、キッズスペースを確保する等の親子が献血にふれあう機会を設けるための取組

<p style="text-align: center;">予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p style="text-align: center;">本事業を行うに当たっての規制や連携・協力先 (都道府県における規制について記載願います。また、連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
富山県	
<ul style="list-style-type: none"> ・血液センターの親子見学会（低学年） ・親子連れの献血での落書き帳の配布（幼児） 	<p>小学校教育現場への働きかけ。</p>

	<p style="text-align: right;">静岡県</p> <p>(託児施設を設置することについて県子育て支援課に確認)</p> <p>○不特定の者(幼児)を預かって保育をするのであれば認可外保育施設として届出が必要であるが、自施設の顧客に対してのみ行う場合、届出義務はない。ただしそのような施設に対しても県に監督義務があり定期的な監督を行うので、県へ情報提供として届出をお願いしている。</p> <p>(※静岡市内、浜松市内の施設については、各市へ届出)</p> <p>○保育を実施するにあたっては保育する人数、時間によって人的要件がかかる(最低2名、うち保育士1名)が、1時間程度子どもを預かる状況でそこまで必要か検討する必要があるので、どのような形態で行うのか決まり次第相談してほしい。</p>
--	--

<p>該当なし</p>	<p style="text-align: right;">愛知県</p> <p>「許可外保育施設に対する指導監督の実施について」(平成13年3月29日雇児発第177号)の他は、県単独の規制はありません。</p> <p>県、政令市、中核市等の保育指導係</p>
-------------	--

愛知県赤十字血液センター

既存施設では、新たにキッズスペースを設ける場所がないところが大半である。今後新規開設することがあれば、キッズスペースを考慮したものとする。

成分献血者の場合は、所要時間が長いことから親子がふれあえるよう、子供が献血者のそばに居られるよう配慮しているが、さらに採血中の時間も楽しめるDVD等を用意する。

滋賀県

キッズスペースで一時預かりを行う場合は、児童福祉法に定める「保育所の一時的預かり事業」として児童福祉施設最低基準に基づき、届け出が必要となりますが、県独自の規制はありません。

大阪府

平成22年9月1日にオープンした「まいど なんば献血ルーム」において、キッズルームを設置し子供連れの献血者の確保に努めている。

日本赤十字社大阪府支部

兵庫県赤十字血液センター

平成22年1月23日に開設した新長田出張所においては、キッズルームを設け、子育て中の女性や子供連れの献血者の確保に努めている。

③「献血出前講座」や血液センター等での体験学習への取組

<p>予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
--	---

<p>小学生（高学年）を対象とした親子体験学習と見学会。</p>	<p>石川県 県及び市教育委員会、校長会</p>
----------------------------------	------------------------------

<p>・県支部との共催し、小中学生を対象とした血液センター見学会の開催 ・献血出前講座の実施</p>	<p>福井県 ・教育委員会</p>
--	-----------------------

<p>県職員による出前講座のメニューのひとつに献血をあげ、県民の要望に応じて出前講座を実施。</p>	<p>岐阜県 市町村</p>
--	--------------------

<p>夏休み親子血液教室 小学生高学年を対象に、血液に関するDVDの上映や血液センターの見学などを実施する。</p>	<p>愛知県 市町村、愛知県赤十字血液センター</p>
--	---------------------------------

愛知県赤十字血液センター

現在、高等学校を中心に実施しているが、学校行事の中に組み込んでいただけないのが現状である。引き続き継続をして行く。	県教育委員会、名古屋市教育委員会、市町村、学生ボランティア
---	-------------------------------

三重県・三重県赤十字血液センター

これまでは小学生を対象に取り組んできたが、高校への授業の実施にも取り組み、献血実施につなげたい。	保健所、教育委員会、動物愛護管理センター、ライオンズクラブ等との協力を得て実施する。
--	--

滋賀県

<p>献血出前講座</p> <p>県下の各種団体（ライオンズクラブ、市町献血推進協議会、事業所、学校等）の研修会等の依頼に積極的に取り組む。</p> <p>教育委員会が主催する教員対象の研修会に参加</p>	教育委員会、各県内高等学校の保健体育主事等に協力を求める。
---	-------------------------------

京都府

<p>○献血ルームでの献血ルーム見学会及び献血セミナー開催 （対象：小学生高学年とその保護者）</p> <p>○若年層対象の献血セミナーの開催（対象：JRC加盟の中学・高校・看護学生）</p>	<p>京都府（保健所）、地域献血推進協議会</p> <p>赤十字支部</p>
--	--

大阪府

<p>① 大学生の施設見学や中学生の社会体験事業として、職場体験受入。（中学生の職場体験実績：平成21年度5名）</p> <p>② 府内小学生を対象に「献血おもしろゼミナール」を開催。</p>	<p>①～② 学生献血推進協議会、各市町村献血推進協議会</p> <p>② 後援：大阪府、大阪市、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会</p>
--	--

<p>高校生献血ボランティア推進事業において、要望に応じて資材の貸し出し・提供及び実施校の希望に応じて説明会を位置づけている。</p>	<p>兵庫県 日赤、献血推進団体他</p>
<p>小中学校を対象にした「献血出前講座」の検討及び例年実施している「こども見学会」並びに献血者を対象とした「血液センター見学会」の実施</p>	<p>兵庫県赤十字血液センター 県、市町</p>
<p>若年層へ献血啓発を目的として、夏休みに小学生及び保護者を対象とした「献血まるわかりゼミ」を実施する。 (センター事業)</p>	<p>奈良県 市町村教育委員会（チラシ・ポスターの配布）</p>
<p>・平成20年度から、県内高校生を対象に、外部講師を招き、体験談を交えて献血の重要性を語ってもらう「高校生献血学習」を行っている。（平成21年度：3回実施、対象者316人） （県・血液センター） ・高校文化祭等へ出向いて、献血に関する正しい知識の普及を行っている。 （県・血液センター）</p>	<p>和歌山県 県及び血液センターが中心となり、開催高校及びライオンズクラブ（外部講師含む）が、連携を図り実施。 （県・血液センター）</p>

④大学等における献血の推進及び将来の医療従事者をを目指す者に対する普及啓発の取組

<p>予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
富山県	
<ul style="list-style-type: none"> ・入学オリエンテーション等を利用した大学生等への献血への呼びかけ（6校） ・専門学校・短大で新入生の献血説明会（4校） ・医学部学生の見学会（5年生） ・3人で一緒に献血キャンペーン ・リーフレットの配布 	<p>大学・専門学校等教育現場への働きかけ。</p>
石川県	
<p>大学学園祭会場での献血キャンペーンの実施。</p>	
福井県	
<ul style="list-style-type: none"> ・県内の各大学・短大に献血バスを配車し、福井県学生献血推進連盟を中心とした学生ボランティアによる啓発活動の実施 ・臨床研修医（1年次）に対し血液センターにて血液事業のオリエンテーションを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県学生献血推進連盟 ・各臨床研修医協力病院
岐阜県	
<ul style="list-style-type: none"> ・学内のボランティア団体に働きかける。 ・大学の医学生研修を受け入れ、血液センター職員による講義などを行う。 	<p>血液センター</p>

献血啓発ポスターの掲示を依頼 学生クリスマス献血キャンペーンの実施	愛知県 各大学 学生献血連盟、愛知県赤十字血液センター
--------------------------------------	-----------------------------------

医科大学、看護大学、医療専門学校等での献血実施と血液センター施設見学の受け入れ実施。 学生献血連盟加入の学生を通じた学内での献血PR活動を実施。	愛知県赤十字血液センター 各大学内学生担当課、またはボランティアサークル等担当者。
---	--

学生献血推進協議会の設立	三重県・三重県赤十字血液センター 県内の大学献血時にボランティアサークルのメンバーに啓発協力の依頼を行う。 大学病院で献血実施時に研修医に献血の経験をして頂く。
--------------	--

血液センターの近隣大学のクラブ・サークルなどへ働きかけ、大学内での献血受付窓口の設置を継続して実施。 大学生に対して、地域貢献活動のひとつとしての献血を働きかけ、活動内容をホームページで紹介していく。 大学、看護学校等に対する働きかけを進める。	滋賀県 県内の大学等に協力を求める。
--	-----------------------

○大学・高校での薬物乱用予防教育等、様々な機会を活用した献血啓発の強化と献血推進 ○大学献血実施時に比重不足者に対する「栄養相談事業」の実施 ○看護学生を対象に献血ルームで献血に対する講義と献血体験学習の実施	京都府 大学、高校 大学（大学担当者への栄養相談事業への説明・協力依頼） 看護学校
--	--

大阪府

<p>① 「はたちの献血」、「全国学生クリスマス献血キャンペーン」広報用ポスターを府内大学、短期大学に配布。</p> <p>② 学生献血推進協議会メンバーの血液管理センター見学。 (平成22年3月10日、20名)</p> <p>③ 学生献血推進協議会による街頭キャンペーン。(実績:平成22年度8回程度)</p> <p>④ 医療関係の学校に対して、血液センター施設見学会を積極的に招致。</p>	<p>①～③ 学生献血推進協議会</p>
---	----------------------

兵庫県赤十字血液センター

<p>兵庫県学生献血推進協議会の研修会及び研修医、医科大学生、看護学生等の校外学習の受け入れ</p>	<p>兵庫県学生献血推進協議会</p>
--	---------------------

奈良県

<p>大学キャンパス内において、献血を実施するとともに、学生献血推進協議会と連携して学生による献血啓発を行い、啓発を含めた自主的な献血参加を促す。(県事業)</p> <p>若者献血推進に向けて、学生献血推進協議会等の献血啓発協力者を対象とした研修会を実施する。(県事業)</p>	<p>血液センター・大学・学生献血推進協議会等</p>
---	-----------------------------

和歌山県

<p>・大学や医療関係の学校での献血実施時に、献血推進啓発を行っている。(血液センター)</p>	<p>血液センターが中心となり、各学校及び県学生献血推進協議会が連携を図り実施。(血液センター)</p>
--	--

⑤年齢別人口に占める献血者の割合が低い傾向にある50～60歳代を対象とした普及啓発の取組

<p>予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
<p>・はがきでの依頼 (原料血漿確保)</p>	<p>富山県</p>
<p>69歳までの献血を可能にするため、60歳を迎えた献血経験者を対象に依頼の文書を発送する。</p>	<p>石川県</p>
<p>・地域の壮年会等への協力依頼</p>	<p>福井県 ・地域の壮年会等</p>
<p>献血経験のある50～60歳代の方を対象に、葉書により献血依頼を行う。</p>	<p>岐阜県 血液センター</p>
<p>○1月から3月にかけて、民法ラジオ (AM、FM) で放送する情報提供コーナー (約3分間) の中でテーマとして取り上げる。</p>	<p>静岡県 県内ラジオ局</p>
<p>ホームページへの掲載 啓発資材の配布 ポスターに採血基準の記載</p>	<p>愛知県 啓発資材、ポスターの配布先 (保健所、薬剤師会等)</p>
<p>60歳代の献血協力者を対象に、年間1回から2回、献血の協力依頼ハガキを送付し、献血への働きかけを実施する。</p>	<p>愛知県赤十字血液センター</p>

三重県・三重県赤十字血液センター

服薬の基準を再度お知らせする。 献血実施の際の血液検査項目のPR	
-------------------------------------	--

兵庫県赤十字血液センター

定年による（企業内）献血ばなれを回避するため献血を継続いただく依頼文書の発送を検討	
---	--

和歌山県

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 「薬の正しい使い方」「薬物乱用防止」等の講習会実施時に、併せて献血推進啓発の講習を行う。 （県） ・ 50歳以上の既献血者に対し毎年ハガキ等による献血依頼を行っている。 （血液センター） ・ 献血推進講演を自治会等で行っている。 （血液センター） | 血液センターが中心となり、ライオンズクラブ及び県日赤奉仕団との連携により実施。 （血液センター） |
|---|--|

⑥地域の特性に合わせた採血所のイメージ作りや移動採血車の機能面の充実等の、なお一層のイメージアップへの取組

<p>予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)</p>
<p>・イベントで献血の待ち時間に、雑誌閲覧及びビデオ鑑賞の場の提供(献血バス)</p>	<p>富山県 —</p>
<p>・血液センター内の献血ルームをリニューアルし、血液センターの外壁に献血ルームの名称を掲示する等、遠くからでも分かりやすい施設とした</p>	<p>福井県</p>
<p>母体(岐阜県赤十字血液センター)待合室の備品が老朽化しているためリニューアルし、イメージアップを図る。</p>	<p>岐阜県 血液センター</p>
<p>現在のバスは車両が低いため、坂や段差では進入できないこともあるため、車高を上昇させる機能が必要。</p>	<p>三重県・三重県赤十字血液センター</p>
<p>血液センターの改装予定。 献血ルームの設置についての検討。</p>	<p>滋賀県</p>

新規オープンする「なんばルーム(仮称)」については、大阪らしい名称やイベントを検討中。	大阪府
移動採血車のラッピング及び献血ルームの改修、設備の充実	兵庫県赤十字血液センター
積極的に「チッチ」や「ハーディア」等の献血推進キャラクターを活用する。イベントで「チッチ」の着ぐるみを使用する等。 (県事業)	奈良県 血液センター

第 1 2 回 献血推進運動中央連絡協議会における協議事項について

1. 22年度献血推進計画に盛り込まれた事業の取組予定

①平成23年4月1日施行予定の採血基準改正についての広報

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を 得るための方法等)
島根県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへの掲載(県、血液センター) ・市町村へ広報誌等を利用した公報の依頼 ・県広報媒体を利用した広報。 ・高校出前講座 ・高校生を対象とした集中的な啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・県や市町の広報誌等、各種広報媒体を用いて啓発する。 ・高校生献血サポーター事業を充実させたり、高校生献血の実施回数を増やしたりすることで、高校生が献血にふれる機会を増やし、次年度の準備をすすめる。 ・教育委員会を通じて各高等学校等へ通知し、血液センターと連携して周知を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村 <ul style="list-style-type: none"> ・山口県・山口県赤十字血液センター ・連携・協力先:教育委員会 ・県内高等学校等への出前講座の実施 ・市町に働きかけ、広報に努めてもらう。 ・高校との連携強化を図り、啓発のみならず、高校生献血も希望があれば積極的に受け入れる。 <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県赤十字血液センター、愛媛県教育委員会

②地域の特性に応じ、キッズスペースを確保する等の親子が献血にふれあう機会を設けるための取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての規制や連携・協力先 (都道府県における規制について記載願います。また、 連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を 得るための方法等)
岡山県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・子供連れの方にも気軽に献血に参加していただけるよう、キッズスペースを確保するため、現在献血ルームにおいて改装工事を計画中である。 ・キッズコーナーの設置を検討 血液センター(母体)にキッズスペースを新設 ・大学生等ボランティアが行う献血キャンペーン会場においてキッズスペースを確保し、学生が中心となって献血読本の読み聞かせを行ったり、献血キャラクターのぬり絵等を用いて幼少期の子どもが献血にふれあう機会を設ける。 ・予約献血により一定規模の子連れ希望者を確保できるようであれば、臨時的に休憩室の一部をキッズスペースとして使用することを検討している ・小学校親子血液センター見学体験教室の実施 ・予定なし (献血ルームのスペースやそのための人件費等の問題があるため) 	<ul style="list-style-type: none"> ・山口県赤十字血液センター ・臨時的に設置するものであれば届出は不要だが、事故等があれば指導の対象となる。託児をするための従事者は常時2人以上必要。 ・子どもを一時的に預かる場合は、認可外保育施設の基準が適用となり、保育士や看護師の資格をもった従事者が必要となる。そのためキッズスペースの常時設置は困難であり、献血キャンペーン実施時に、有資格者を確保し、会場の協力を得て臨時的に設置したい。 ・採血所の構造設備基準、医療法(休憩所の確保の問題) ・愛媛県赤十字血液センター

③「献血出前講座」や血液センター等での体験学習への取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県	献血おもしろセミナー(親子見学会) ・小学校4年生～中学校3年生 ・高校生を対象とした、保健所・血液センター職員による献血出前講座の実施。(年間) ・日本赤十字社岡山県支部、岡山県教育委員会とタイアップして県内の各高校を対象とした「赤十字出前講座」を21年度より実施している。 ・広島県赤十字血液センター、献血バスの紹介。血液や体の仕組みと働きについての講義、クイズコーナー。 ・小学生親子血液センター見学教室(小学校) ・小・中・高校・学生等を対象とした「献血出前講座」(小・中・高校生) ・小学校:血液センターにて「夏休み親子献血ゼミナール」実施 ・高等学校:JRCメンバー対象に「献血研修会」実施 ・高校生献血サポーター事業において、血液センターの見学会などを積極的に行う。 ・小学校4年生～6年生の親子を対象に血液センター見学教室を夏休み期間中に実施する。 ・小学校4年生～6年生を対象に、献血の必要性や命の大切さへの理解を求める小学校献血出前講座を実施する。	・市教育委員会・・・周知協力 ・保健所、血液センター、高校、県教育委員会 ・日本赤十字社岡山県支部、岡山県教育委員会 ・県教育委員会等の後援名義使用の承諾。 ・山口県・山口県赤十字血液センター ・市教育委員会 各高校JRC担当教職員 ・県教育委員会や高校の協力を得て、献血サポーター事業をさらに充実させ、高校生はもちろん、教師の献血への関心も高め、学習指導要領の改訂に合わせて、授業の中でスムーズに取り上げてもらえるよう準備を進める。 ・県や市町教育委員会と連携し、小学生からの献血啓発の機会を確保する。

愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校・高等学校へ献血事業を説明する「出前教室」を実施 ・小学生親子血液センター見学体験教室の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県赤十字血液センター
-----	---	---

④大学等における献血の推進及び将来の医療従事者を旨とする者に対する普及啓発の取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
鳥取県 島根県 岡山県 山口県 徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回、研修会を開催(大学) ・医学部展覧会でパンフレットを配布し啓発 ・移動採血車の配車と学生へのチラシ等による呼びかけ。 ・献血サークルに対し学生への呼びかけ協力の依頼。 ・若者向けタウン情報誌を利用した啓発 (例:血液センターの記事を掲載したタウン誌を大学入学式で新入生全員に配布) ・献血推進サークルの活動支援 ・県内の大学、専門学校等の学生で構成している学生ボランティア組織に対し、年8回の定例会、研修会を行い献血知識の普及啓発に努めている。また、数年献血を実施していなかった大学に配車を行い、掘り起こしを行った。学内献血を実施する際、上記学生ボランティア組織、学友会、ボランティアサークル等の協力を得て、学生に対する呼びかけを実施している。 ・大学生やその他の学生を対象とした献血セミナー ・学生赤十字奉仕団を対象とした「献血研修会」 ・大学生を対象とした、学内献血時のチラシ等による 	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部看護科 ・血液センター、大学献血ボランティアサークル ・血液センター ・血液センター ・血液センター ・岡山県学生献血推進連盟“S. B. D. Momo”、県内各大学学友会、ボランティアサークル ・山口県学生献血推進協議会 ・学生赤十字奉仕団 ・学生赤十字奉仕団

香川県 愛媛県 高知県	<p>呼びかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳島大学医学部の学生を対象とした臨地実習 ・大学生ボランティアに献血キャンペーンを自主企画してもらったり、県の広報媒体に出てもらうことで、献血に対する意識の向上をはかる。 ・頻繁に大学・各種専門学校内での移動車献血を実施し、献血及び大学生等の啓発の機会を増やす ・学域献血実施の際に献血の推進等おこなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島大学医学部 ・血液センターが大学生ボランティア団体に対し、定期的に研修会を実施することで、連携を強化する。 ・愛媛県赤十字血液センター ・高知県学生献血クロス倶楽部等学生ボランティア ・学校でのイベント時は、その実行委員会
-------------------	---	--

⑤年齢別人口に占める献血者の割合が低い傾向にある50～60歳代を対象とした普及啓発の取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
鳥取県 島根県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・今年から葉書による献血協力の依頼を実施 ・市町村に対する広報誌への掲載依頼 ・55歳以上の方へDMIによる献血要請 ・ダイレクトメールの送付 ・特にこの世代に限定するものではないが、高齢者への献血への参加の呼びかけ ・長寿大学参加者に対し、献血に対する協力を求める。 ・企業やイベントの献血巡回時に、これまで重視していなかった年配の人(管理職等)に対し、より一層の普及啓発を図る ・献血経験者(事業所献血など)へはがきの送付 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村 ・血液センター ・山口県赤十字血液センター ・ライオンズクラブ ・長寿大学の授業開始前等の時間をもらって、献血に関する基礎知識の普及や献血への協力を求める。 ・愛媛県赤十字血液センター ・高知県赤十字血液センター

⑥地域の特性に合わせた採血所のイメージ作りや移動採血車の機能面の充実等の、なお一層のイメージアップへの取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
島根県 岡山県 徳島県 香川県 愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター待合室の改装 (フロアカーペット、ソファー、本棚、雑誌等の充実) ・献血者に清潔で明るいイメージを持っていただけるよう、献血会場で使用する机、椅子を新しく購入することとしている。 また、献血会場の案内看板も「けんけつちゃん」を用いた親しみやすい看板を購入することとしている。 ・献血者、特に初回献血者の不安を緩和するための丁寧な説明・対応 ・献血時のスタッフの接遇マナー向上をはかり、献血者に、より快適に協力してもらうよう努める。 ・採血所休憩室の壁の一部を開放して、地域情報(ポスター)を掲示するなど一般人が自由に行き来できるようにして採血所のイメージアップを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター ・所内研修等 ・スタッフへの接遇研修を行う。 ・愛媛県赤十字血液センター ・大学、各専門学校

第 1 2 回献血推進運動中央連絡協議会における協議事項について

1. 22年度献血推進計画に盛り込まれた事業の取組予定

①平成23年4月1日施行予定の採血基準改正についての広報

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページや印刷物の作成・配布による情報提供 ・ 献血出前講座や校長会等における情報提供 ・ 市政だより等、行政の広報による情報提供 	血液センター、県、市町村、教育委員会
佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 採血場所や、各種献血のイベントにおけるリーフレット等の配布、また、ホームページ等に掲載するなど周知を図っていく。 ・ 高校生を対象とした献血教室を実施する。 	県、血液センター、教育委員会、学校、市町村
長崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町に広報依頼。 ・ 高等学校等関係団体に周知。 ・ 街頭キャンペーン（愛の血液助け合い運動、はたちの献血）にてPR。 	県、血液センター、教育委員会、市町

熊本県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 17歳からの400mL献血導入に伴い、若年層の献血啓発と献血体験（学内献血）の推進を図るため、県の所管課と協議し、県下高等学校へ協力要請を図っていく予定である。 	県所管課、公私立高等学校長・養護教諭会
大分県	<ul style="list-style-type: none"> ○高校生献血の輪拡大推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各高校のボランティア部部員対象に、献血に関する研修会を開催し、採血基準改正を周知 ・ 各高校のボランティア部部員対象による校内及び校外での広報 ○若年層への献血推進をテーマとする大会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 献血の大会を開催し、採血基準改正を広く県民にPR 	大分県教育委員会、各市町村教育委員会、JRC
宮崎県	<p>献血ルームの映像配信システムや新聞等のメディアにより広報を行う。また、教育委員会を通して、高校生への普及啓発を図る。</p>	血液センター、県教育委員会、高等学校
鹿児島県	<p>県政広報番組（テレビ・ラジオ・新聞・掲示板）、献血出前講座を利用して周知</p>	県、血液センター、市町村
沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の広報媒体を活用し広く県民に周知を図るほか、教育委員会及び市町村へ広報を依頼する。また、高校生を対象とした献血教室の際に周知を図る。 ・ 69歳まで血小板献血可については、献血ルームのリピート成分ドナーに基準変更を案内する。 	県、血液センター、教育庁、市町村、高等学校

②地域の特性に応じ、キッズスペースを確保する等の親子が献血にふれあう機会を設けるための取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての規制や連携・協力先 (都道府県における規制について記載願います。また、 連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を 得るための方法等)
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> 子育て中の親が献血に協力しやすい環境づくりの推進 実施している市町村をモデルとして情報提供 	血液センター、市町村、ボランティア団体
佐賀県		H13.3.29 付け雇児発第 177 号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知「認可外保育施設に対する指導監督の実施について」により指導監督を行っている。
長崎県	血液センター待合所におもちゃ等を整備。	血液センター(本県では、キッズスペースを設置する際に特に規制はなし。)
熊本県		現在の献血ルームのスペースでのキッズスペースの設置は不可能である。
大分県	キッズコーナーの整備 移転予定の献血ルームにおいて、キッズコーナーを設け、若い世代の親子が気軽に来所できるように整備する。	
宮崎県	子供向けDVDの整備。(待合ホール或いは採血ベッドサイドで鑑賞)	血液センター *キッズスペース設置する際の規制は特に設けていない

鹿児島県	血液センター（献血プラザかもいけクロス）のキッズスペースの存在を、近隣マンション入居者に周知する。	県、血液センター（マンション管理組合への事前説明）
沖縄県	血液センターは今年度から新築移転しており、旧センターを献血ルームとして改造することを検討中で、その場合は、キッズスペースを確保する予定である。	血液センター

③「献血出前講座」や血液センター等での体験学習への取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生、高校生に対する献血出前講座の実施（冊子や献血バス利用） 九州血液センターの見学ホール、ガイダンスホールを利用した啓発 推進パンフレットの作成 	血液センター、市町村、教育委員会
佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> 県内の高校生を対象として「献血教室」を実施し、献血についての説明やDVD鑑賞など献血思想の普及啓発を図っている。 血液センターでは、小学校、専門学校などからの見学の要望に応えられるよう体制を整備している。 	県、血液センター、教育委員会、学校
長崎県	<ul style="list-style-type: none"> 県内中学生の職場体験学習を受け入れ。 高校献血を行う際、必要に応じて献血実施の前に献血に関する講演を行う。 	血液センター、県内中・高等学校

熊本県	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生・保護者を対象に血液センターで「夏休み体験学習」を行う。 ・高校生を対象に、血液センターで「献血セミナー」を行う。 	
大分県	<ul style="list-style-type: none"> ・学校薬剤師や各保健所・市町村献血担当者による高校等での出前講座の実施 ・小学生を対象とした「夏休み親子献血教室」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県薬剤師会、大分県教育委員会 ・大分県教育委員会
宮崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象とした「夏休み親子献血教室」の実施 ・採血所や保健所等の待合室での啓発用DVDの放映 	<p>血液センター、県教育委員会</p> <p>* 高等学校については教育委員会からの要望等が現在のところないことから採血基準改正と併せて今後検討する。</p>
鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭や高校3年生の自主学習期間(2月ごろ)を活用した献血出前講座の実施 ・薬物乱用防止と連携した献血出前講座の実施 ・小学生を対象とした「楽しく学ぼうキッズ献血」の実施(抽選で看護師・医師・献血者に扮装し楽しく模擬献血を行う) ・中学生を対象とした職場体験の実施(献血の仕組みや重要性の学習と献血の呼びかけ等の実体験) ・PTA献血の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・県、血液センター、市、県・市教育委員会、日赤支部、各高等学校 ・「楽しく学ぼうキッズ献血」については、血液センターが教育委員会を通じて希望者を募集

<p>沖縄県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生を中心とした献血教室の実施。内容は、講座、啓発用 DVD の放映、体験談等。 【参考】献血教室実施校数 H19 年度：15 校 H20 年度：14 校 H21 年度：26 校 ・ 22 年度より新設された血液センターの見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県、血液センター、教育庁
------------	--	--

④大学等における献血の推進及び将来の医療従事者を目指す者に対する普及啓発の取組

都道府県名	<p>予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学等へのポスター等配布や献血の呼びかけの実施 ・ 大学等の献血推進協議会への加盟の推進 	血液センター、大学等、学生献血推進協議会
佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐賀大学で献血を行う場合、4 日間又は 5 日間と長期に渡って献血を実施することで学生に対する献血の普及啓発を行う。 	県、血液センター、大学、ライオンズクラブ、学生ボランティア協会
長崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生献血推進ボランティアなどの協力のもと大学構内でのキャンペーン実施。 ・ 県内大学への啓発資材配布。 ・ 医療系大学生に対する講義等で献血の重要性を説明。 	県、血液センター、大学、長崎学生献血推進ボランティア連盟、佐世保学生献血推進協議会

熊本県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学内献血での献血体験 ・ 学内献血で組織化されていない大学の体制づくり。 (各種関連業務の中で、医療関係の学生に対する啓発を検討している。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生献血推進協議会、大学研修医、学生
大分県	<ul style="list-style-type: none"> ○大分県学生献血推進協議会による若年層献血推進キャンペーン ・ 学内献血キャンペーン (啓発イベント) ・ 学生献血セミナーの開催 ・ 学内献血推進員の委嘱 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各大学
宮崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮崎大学医学部学生を対象に血液事業全般に関する研修 (月2回程度) ・ 県立看護大学での献血に関する講習 (年1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター、宮崎大学医学部、県立看護大学
鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿児島県学生献血推進協議会の普及啓発 (血液センターではメンバー募集のためのチラシを作成するなど活動を支援) ・ 協議会メンバーを中心とした各大学での献血会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県、血液センター、鹿児島県学生献血推進協議会
沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学及び看護師養成施設での献血講座の実施及びDVD放映並びに献血を実施し、普及啓発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学及び看護師養成施設、血液センター

⑤年齢別人口に占める献血者の割合が低い傾向にある50～60歳代を対象とした普及啓発の取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政だよりや現場における献血可能年齢の周知 ・ お礼状の送付 ・ 献血要請はがきの送付 	血液センター、市町村
佐賀県	献血実施にあたって、事前に献血年齢等を詳しく記載したチラシを各家庭に配布し、50～60歳代の献血参加を促している	県、血液センター、市町村、ライオンズクラブ
長崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本県では全献血者の4分の1を占めており、低い傾向にはない。 ・ 服薬している可能性が高い年代のため、献血が制限される服薬の種類緩和の周知を行う。(例：事業所での献血依頼の際、回覧資料にて紹介) 	血液センター、協力事業所、ライオンズクラブ
熊本県	60歳になられた献血者に対して、69歳まで献血が可能で今後ともご協力をお願いするダイレクトメールを発送する。	
大分県	輸血用血液の高齢者への使用実態を踏まえた啓発ビデオ(DVD)を作成し、各団体や企業等で上映(提案)	ライオンズクラブ、ロータリークラブ、各種経済団体
宮崎県	長期間(3年以上)献血していない50歳以上の献血者へダイレクトメールによる依頼要請や献血に関する情報提供等を行う	血液センター

鹿児島県	還暦や誕生日など記念日の献血を推進する広報の実施	県、血液センター
沖縄県	糖尿病関連検査等により献血が健康管理に役立つことをポスター・ちらしを用いて周知する。	市町村、企業、血液センター

⑥地域の特性に合わせた採血所のイメージ作りや移動採血車の機能面の充実等の、なお一層のイメージアップへの取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> 血液センター（母体）での献血受入をスムーズにするために駐車スペースを 20 台確保して立ち寄りやすくしている。やわらかいイメージを作るために「献血プラザさが」の名称を使っている。移動採血については、検診車を導入し快適な献血受入環境の整備を行っている。 	血液センター、県
長崎県	<ul style="list-style-type: none"> 献血バスのラッピングを親しみやすいように模様替え。 天候に合わせて献血バス前にテントを設置し、日差しや風雨をしのぎやすく入りやすい献血バス作り 	血液センター、協力事業所
熊本県	<ul style="list-style-type: none"> 献血ルーム（母体）の別棟の壁に大型看板を設置し、イメージアップを図る。 移動バス採血が円滑にできるように、検診車を導入する。 	

大分県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血ルームの整備（移転予定のルーム） 若者に好まれ、入り易いソフトなイメージを前面に打ち出す。 ・ 街頭献血会場でのリード看板による広報 	
宮崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血推進ラジオ番組（LOVE in Action）を録音して、献血バス内で献血者に聞いてもらい献血意識を高める。 	血液センター
鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気軽に献血会場へ立ち入ることができるような雰囲気づくり ・ 血液センター献血ルームへのアクセスをメインにしたチラシ等を活用した広報 ・ 繁華街の献血ルームでは、商店街活性化のために設立された協議会との連携、推進用のポスター・チラシ・のぼりの活用 	血液センター 商店街振興協議会、通り会との連携
沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新築移転後の旧血液センターを献血ルームに改造する場合は、アメニティに優れた施設とする。 ・ 移動献血車内に、これまで別途設置していた入力システムを設置する。セッティング作業時間等を短縮し作業効率を上げることで、献血受入時間を長くすることが可能となる。 	血液センター